

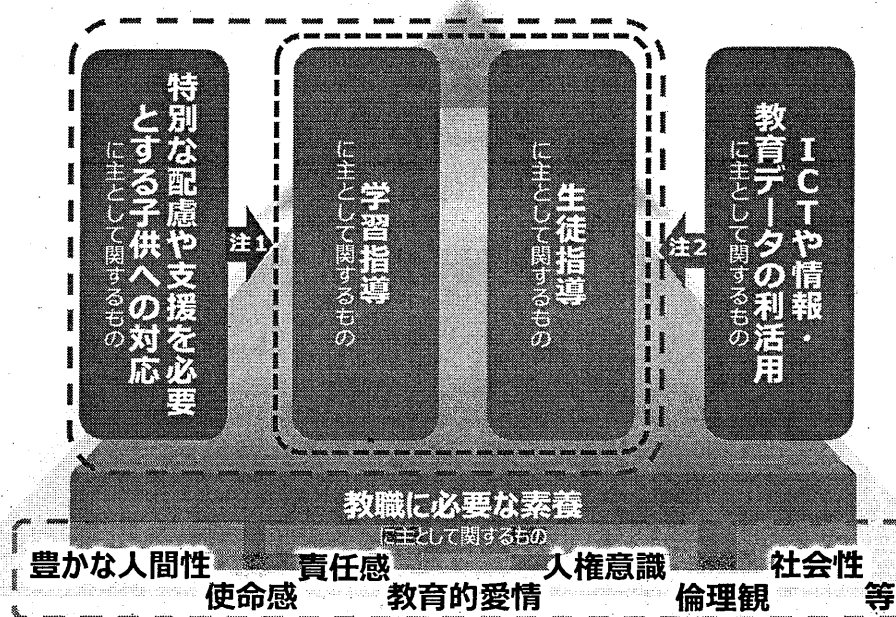
令和4年11月24日

山口県教育委員会会議議案

山口県教育委員会

1 山口県の教員に共通的に求められる資質能力（案）

公立の小学校等の校長及び教員としての資質の向上に関する指標の策定に関する指針 に基づく教師に共通的に求められる資質の具体的内容



※ 上記に関連して、マネジメント、コミュニケーション（ファシリテーションの作用を含む）、連携協働などが横断的な要素として存在

- 注1) 「特別な支援・配慮を必要とする子供への対応」は、「学習指導」「生徒指導」を個別最適に行うものとしての位置付け
 注2) 「ICTや情報・教育データの利活用」は、「学習指導」「生徒指導」「特別な配慮や支援を必要とする子供への対応」をより効果的に行うための手段としての位置付け

<p>教職に必要な素養 に主として関するもの</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「令和の日本型学校教育」を踏まえた新しい時代における教育、学校及び教職の意義や社会的役割・服務等を理解するとともに、国内外の変化に合わせて常に学び続けようとしている。 ・豊かな人間性や人権意識を持ち、他の教職員や子供達、保護者、地域住民等と、自らの意見も効果的に伝えつつ、円滑なコミュニケーションを取り、良好な人間関係を構築することができる。 ・学校組織マネジメントの意義を理解した上で、限られた時間や資源を効率的に用いつつ、学校運営の持続的な改善を支えられるよう、校務に積極的に参画し、組織の中で自らの役割を果たそうとしている。 ・自身や学校の強み・弱みを理解し、自らの力だけでできないことを客観的に捉え、家庭・地域等も含めた他者との協力や関わり、連携協働を通じて課題を解決しようとする姿勢を身に付けている。 ・子供達や教職員の生命・心身を脅かす事故・災害等に普段から備え、様々な場面に対応できる危機管理の知識や視点を備えている。
<p>学習指導 に主として関するもの</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・関係法令、学習指導要領及び子供の心身の発達や学習過程に関する理解に基づき、子供たちの「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を行うなど、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けて、学習者中心の授業を創造することができる。 ・カリキュラム・マネジメントの意義を理解し、教科等横断的な視点や教育課程の評価、人的・物的な体制の確保・改善等の観点をもって、組織的かつ計画的に教育課程を編成・実施し、常に学校の実態に応じて改善しようとしている。 ・子供の興味・関心を引き出す教材研究や、他の教師と協働した授業研究などを行いながら、授業設計・実践・評価・改善等を行うことができる。 ・各教科等においてそれぞれの特質に応じた見方・考え方を働かせながら、資質・能力を育むために必要となる各教科等の専門的知識を身に付けている。
<p>生徒指導 に主として関するもの</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子供一人一人の特性や心身の状況を捉え、良さや可能性を伸ばす姿勢を身に付けている。 ・生徒指導の意義や原理を理解し、他の教職員や関係機関等と連携しつつ、個に応じた指導や集団指導を実践することができる。 ・教育相談の意義や理論（心理・福祉に関する基礎的な知識を含む。）を理解し、子供一人一人の課題解決に向け、個々の悩みや思いを共感的に受け止め、学校生活への適応や人格の成長への援助を行うことができる。 ・キャリア教育や進路指導の意義を理解し、地域・社会や産業界と連携しながら、学校の教育活動全体を通じて、子供が自分らしい生き方を実現するための力を育成することができる。 ・子供の心身の発達の過程や特徴を理解し、一人一人の状況を踏まえながら、子供達との信頼関係を構築するとともに、それぞれの可能性や活躍の場を引き出す集団づくり（学級経営）を行うことができる。
<p>特別な配慮や支援を必要とする子供への対応 に主として関するもの</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・特別な配慮や支援を必要とする子供の特性等を理解し、組織的に対応するために必要となる知識や支援方法を身に付けるとともに、学習上・生活上の支援の工夫を行うことができる。
<p>ICTや情報・教育データの利活用 に主として関するもの</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校におけるICTの活用の意義を理解し、授業や校務等にICTを効果的に活用するとともに、児童生徒等の情報活用能力（情報モラルを含む。）を育成するための授業実践等を行うことができる。 ・「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現に向け、児童生徒等の学習の改善を図るため、教育データを適切に活用することができる。

注) 記述量と必要な学修量とは、必ずしも比例しない。

山口県の教員に共通的に求められる資質能力（案）



注1) 「特別な配慮や支援を必要とする子供への対応」は、「学習指導」「生徒指導」「学校教育全体を通じた活動」を個別最適に行うものとして位置付け

注2) 「ICTや情報・教育データの利活用に関すること」は、「学習指導」「生徒指導」「学校教育全体を通じた活動」「特別な配慮や支援を必要とする子供への対応」をより効果的に行う手段として位置付け

2 山口県教員育成指標【教諭】(項目案)

山口県教員育成指標【教諭】（項目案）

■どのステージにおいても変わらず必要とされる「教職に必要な素養に関すること」

◎豊かな人間性 ◎使命感 ◎責任感 ◎教育的愛情 ◎人権意識 ◎倫理観 ◎社会性 等

大項目	中項目	小項目	ステージ0 【採用時】	ステージ1 【自立・向上期】	ステージ2 【充実期】	ステージ3 【発展期】	
教職に必要な 素養に関する こと	① コミュニケーションカ		○円滑なコミュニケーションにより、良好な人間関係を構築する必要性を理解している。	○他の教職員、児童生徒、保護者等と積極的にコミュニケーションをとっている。	○他の教職員、児童生徒、保護者等と積極的かつ円滑なコミュニケーションができる。	○他の教職員、児童生徒、保護者等と積極的かつ円滑なコミュニケーションができるとともに、他の教職員の活動に関わり、指導・助言できる	
		② マネジメントカ	タイム・マネジメント	○疑問や悩みを相談し、チームで対応する必要性を理解している。	○疑問や悩みを相談・共有しながら、自らの実践力を磨いている。	○互いの課題や悩みに気づき、支え合える環境をつくるとともに、経験の浅い教職員を積極的に支援している。	○人材育成の重要性を踏まえ、教職員の経験に応じた効果的な人材育成の環境づくりに協力するとともに、他の教職員に対して適切な支援・助言を行っている。
			カリ・キム・ラム・ネジメン 学 校 運 営・校 務 分 掌				
学習指導に関する こと	③ 教科指導	授業計画					
		授業実施					
		評 価					
		授業改善					
	④ 総合的な学習（探究）の時間						
⑤ 道徳教育							
生徒指導に関する こと	⑥ 児童生徒理解						
	⑦ 教育相談						

検討中

大項目	中項目	小項目	ステージ0 【採用時】	ステージ1 【自立・向上期】	ステージ2 【充実期】	ステージ3 【発展期】
生徒指導に関すること		⑧ いじめ・不登校・問題行動への対応				
		⑨ 学級経営				
		⑩ 学校安全				
学校教育全体を通じた活動に関すること		⑪ 特別活動				
		⑫ 人権教育				
		⑬ キャリア教育				
特別な配慮や支援を必要とする子供への対応に関すること ⑭						
ICTや情報・教育データの活用に関すること		⑮ 授業における活用				
		⑯ 校務における活用				
家庭、地域・社会、関係機関等との連携に関すること ⑰						

検討中